

Submission Guidelines for the Journal of Health Professional Education

保健衛生教育学会 学術誌編集部 ・ 保健衛生教育学会誌 編集委員会

1. 本誌の概要 (Journal Overview)

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・保健師・助産師を主とした保健衛生教育、および関連諸分野の学術的発展に寄与する論文を広く募集する。国内外を問わず、他誌に掲載・投稿中のもの、ウェブサイトに掲載されたもの（掲載予定を含む）は受け付けない。

2. 投稿資格 (Membership Requirement for Submission) と著者資格 (Authorship)

編集委員会からの依頼原稿を除き、論文の筆頭著者は本学会の会員で当該年度（投稿時から掲載時）の会費を納めた者に限る。共著者は会員でなくてもよい。

著者は、国際医学編集者会議 ICMJE の示す下記 4 基準をすべて満たす者のみが認められる。満たさない者は貢献者として謝辞に記載する。また全著者が自筆で署名した「投稿承諾書」を提出しなければならない。

- 論文の構想、デザイン、データの収集、分析と解釈において実質的に貢献した。
- 論文作成または重要な知的内容に関して批判的に校閲した。
- 発表原稿の最終版を承認している。
- 論文の正確性や公正性に関する疑問が適切に調査され、解決されることを保証する点において論文の全側面について責任があることに同意した。

3. 使用言語 (Language)

使用言語は原則として日本語または英語とする。母語でない言語で書かれた文章（要旨、本文等）は、事前に専門の業者を通した Native Check を受け、投稿時に英文校正の証明書を合わせて提出する必要がある。翻訳の結果に誤りがあった場合には著者がその責任を負う。

4. 原稿の区分 (Manuscript Categories)

受け付ける原稿は下記 6 区分とする。審査中や審査後に編集委員会から区分の変更を求められることがある。

【投稿原稿（査読あり）】

原著：独創性があり、新規性を詳細に記述した研究報告。

短報：独創性があり、速やかな発表のため新規性を簡潔に記述した研究報告。

報告：特色ある教育実践や新しい研究技術などに焦点を当てた報告。教育・研究としての活動、実験や調査などの研究に関わる道具や情報の紹介など。一事例の報告や症例報告も含む。

総説：特定のテーマについて過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評、および総括。システマティック・レビューを含む。依頼原稿の場合は査読を行わない。

【依頼原稿（査読なし）】

解説：国内外の保健衛生教育、医療・保健・福祉に関わる研究動向などに関する総括的解説。

提言：保健衛生教育等に関する時宜にかなった提言。

5. 原稿の文字数と掲載料 (Manuscript Length and Publication Fees)

本文（緒言から謝辞まで）の文字数と図表数は、公開版 1 ページあたり 1,600 文字として、下記を目安とする。公開版のページ数は、本文の文字数 + 図表の換算文字数に、題目、著者氏名、所属組織名、要旨、引用文献などを合計した約 2 ページを加えた数となる。例えば「原著」は 9,600 字（6 ページ）+ 2 ページとなり、合計で 8 ページの論文が公開される。「解説」と「提言」には文字数や図表数の目安を設けていない。

論文の区分	本文の文字数 + 図表の換算文字数	本文の文字数	図表の換算文字数
原著	9,600 字以内	8,000 字	1,600 字（合計 1 ページ）
短報	7,200 字以内	6,000 字	1,200 字（合計 0.75 ページ）
報告	4,800 字以内	4,000 字	800 字（合計 0.5 ページ）
総説	15,200 字以内	12,000 字	3,200 字（合計 2 ページ）

図表の換算では、説明文も含めて 1 ページ全体を占める大きさを 1,600 字と換算する。例えば、ページ半分の大きさの図表では 800 字と換算する。本文の文字数や図表の数は目安であり、公開版が 9 ページ以上の場合にはページごとに掲載料が加算される。査読後に加筆することで文字数が増減することがある。

投稿時や査読時の著者負担は無い。原稿採択時に、掲載料（組版作成料と事務手数料）を著者が負担する。公開版 8 ページまでの掲載料は 50,000 円とし、9 ページ以上では、超過 1 ページにつき 5,000 円を加算する。カラー図版による加算はない。採択論文はオープンアクセスとして公開され、製本や別刷は印刷しない。

6. オープンアクセスポリシー (Open Access Policy)

本誌に掲載される論文等のライセンスは、クリエイティブ・コモンズ (CC) ライセンスの CC BY 4.0 とする (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>)。著作権は著者にあり、著者の氏名や論文タイトル、雑誌名などのクレジットを表示することを条件として、改変や営利目的の二次利用も許可される。投稿する原稿において、本ポリシーに関する文面は変更してはならない。

7. 二次利用に関するポリシー (Secondary Data Use Policy)

投稿する原稿で、すでに公開されている図表を掲載する（二次利用する）場合は、著作権保持者（出版社等）の許諾の必要性、改変可否を著者が確認する。許可を得た場合、その旨を図表の説明文に明記する（例：「著作権保持者名」の許可を得て[論文名] [4] から転載」など）。改変した場合にもその旨を明記する。

8. AI ポリシー (Artificial Intelligence Policy)

原則として生成 AI で作成した文章や画像は受け付けない。また、著者として AI を記載することはできない。英文作成や原案作成等での補助的な活用において、AI による生成物に誤りがあった場合、著者が責任を負う。

9. 人を対象とする研究における対象者の匿名性と倫理的側面 (Ethical Guidelines)

研究遂行にあたり、ヘルシンキ宣言に準拠し「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」をはじめとした厚生労働省が掲げる「医学研究に関する指針」を参照すること。原則として、倫理審査委員会の承認を得て、対象者への十分な説明のうえで研究を遂行し、その旨を明記しなければならない。特に、対象者数の限られた論文では個人を特定できないよう、記録時期や対象者の組織名などを匿名化すること。

10. 利益相反 (Conflict of Interest, COI)

論文の内容に関する利益相反の有無を原稿に明記しなければならない。研究に関する資金提供、雇用関係などがある場合には、関係した営利目的の企業・団体名を記載する。また著者に本誌の編集委員や理事が含まれる場合もその旨を明記しなければならない。利益相反が無い場合にもその旨を記載する。公的機関(科研費など)や非営利組織の研究助成金については謝辞に記載すること。

11. 論文投稿 (Manuscript Submission) と査読プロセス (Peer Review)

論文投稿は連絡著者 (Corresponding Author) が行う。連絡著者のアドレス等は論文に記載され、論文掲載後も問い合わせの代表者となるため、投稿から掲載後の全過程で責任を持てる著者が連絡著者を務めること。

初稿の投稿時には、「論文原稿」、「画像ファイル」、「投稿承諾書」、「英文校正証明書」の一式を電子メールに添付して送付すること。

論文投稿・連絡先：保健衛生教育学会誌 編集委員会 journal@jshpe.jp

論文は、編集委員会が選定し依頼した複数の研究者（査読者）が査読する。査読者は著者を把握できるが、著者が査読者の情報を知ることにはできない（シングルブラインド）。査読終了後、査読者のコメントを基に、編集委員会が論文の採否を判定する。修正が必要な場合は、編集委員会から著者へ査読コメントを送付する。

修正稿の投稿時には「修正稿」とともに「査読者のコメントへの返信」を提出する。修正稿では、MS-Word の「変更履歴の記録」機能は使用せず、修正箇所を赤字などで表現する。著者は、全査読コメントに対して回答しなければならない。査読者の指摘に異論がある場合には論理的・客観的な視点から議論してもよい。

12. 著者校正 (Author Proofreading)

著者による校正は原則として 1 回とし、編集委員会においてさらに修正される可能性がある。著者校正では、著者の増減や大幅な文章の修正は認められない。著者校正の終了後は、著者の氏名・所属情報やスペルミスも含め、一切の修正ができない。